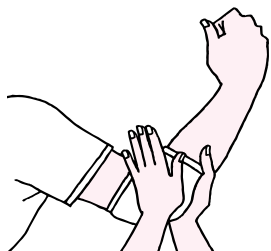
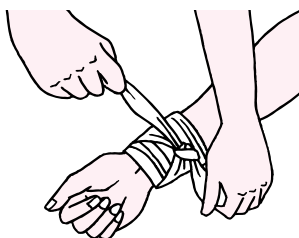


出血

- ・出血のしかたを確認
傷口からにじみ出る……………「ア.毛細血管性出血」
黒ずんだ血が流れ出る……………「イ.静脈性出血」
まっ赤な血が噴水のように吹き出る…「ウ.動脈性出血」
➔ア、イは応急手当で止血可能。ウなどの大量出血時は同時に119番へ



- ①出血している部分に清潔なガーゼやハンカチをあてて片手で圧迫。出血量が多いときは両手で強く圧迫。
＜直接圧迫止血法＞



- ②血がにじんできたならガーゼやハンカチを重ね、きつめに包帯を巻く。

※静脈は血流が弱く、直接圧迫止血法でおおむね応急止血が可能です。

参考

出血量の判断

循環血液量の20%以上の失血で輸血が必要となります。

重症度	出血量(ml)	症状
無症状	0～500	精神的不安、立ちくらみ程度
軽症ショック	500～1,200	軽度頻脈、軽度血圧下降、四肢冷感
中等度ショック	1,200～1,800	頻脈、血圧下降、蒼白、口唇退色
重症ショック	1,800～	意識混濁、蒼白チアノーゼ、浅呼吸、反射低下

注意

万一の感染防止のため、止血のさいには傷病者の血液に触れないことが大切です。救助者はできる限りビニール手袋やビニール袋を手に着用することが推奨されます。

